

高齢者福祉施設将来需要等調査に伴う区民アンケートの実施について

港区人口将来予測では、令和32年（2050年）に港区の高齢者人口は、現在の約1.9倍になると見込んでいます。

区は、計画的に高齢者福祉施設の整備を進めていますが、将来に向けて、入所施設や在宅介護の支援事業所等の必要数を推計し、今後の介護ニーズに備えていく必要があることから、高齢者福祉施設に関する将来需要等調査を実施します。

調査の実施に伴い、区民の将来の住まい方に関する意向を把握する目的で区民アンケートを実施します。

区民アンケートの集計結果も踏まえ、令和32年（2050年）を見据えた特別養護老人ホーム等の高齢者福祉施設の必要数を抽出・分析し、次期港区地域保健福祉計画等の関連計画に反映させるほか、区の施策に幅広く活用します。

1 アンケート概要

(1) 対象

無作為抽出の55歳から85歳までの区民（5,000人）

(2) 調査方法

次のいずれかの方法によります。

ア 区から郵送したアンケート用紙の設問に回答し、同封した返信用封筒にて返信する方法

イ 郵送したアンケート用紙に印刷した二次元コードを読み取ることによるリンク先の設問に回答する方法

(3) 設問内容

ア 本人の情報（年齢、性別、世帯構成、世帯の経済状況、現在の住まいについて、要介護度等）

イ 将来の住まい方の意向について（将来の住まい方（自宅、施設等）、場所（港区からの移動時間）、区外の施設等への入所等）

ウ 本調査に回答した人について（本人、家族等）

エ 自由意見

(4) 調査期間

令和8年5月29日（金）から6月12日（金）まで

2 今後のスケジュール（予定）

令和8年 5月 区民アンケート実施（郵送）

10月 保健福祉常任委員会報告（調査結果）

令和9年 2月 港区地域保健福祉計画策定